

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2025 年 7 月 10 日	
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部	学部/研究科 School/Graduate School	2 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC		
留学先大学 Host University	中山大学 (国名/Country : 台湾)		
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	海洋科学部		
在籍身分 Status at Host University	学生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)		
留学期間 Period of Program	2024 年 9 月 2 日 ~ 2025 年 6 月 6 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)		

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	大学の第二外国語で中国語を選択しており、実際に現地の方と中国語でコミュニケーションをとってみたいと思ったから。また、1年留学しても広島大学を4年で卒業することが理論上可能だったから。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	半年前
事前準備について (どのような 準備をしたか、しておけばよか ったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	同じ大学に留学していた先輩に実際に会って話を聞き、具体的な留学のイメージを持っておきました。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : Resident	
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : 台北駐日経済文化代表処横浜分処	
	提出書類 / Required Documents : 健康診断書、旅行予定表、在学証明書	
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 1 週間	
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	WEB サイト上で申請書を作成する必要がありました。また、健康診断は大学のものでは対応していなかったので個人的に受診しました。	
出国年月日/ Date of Departure	2024 年 9 月 2 日 (YYYY /MM/ DD)	
経路(往路) / Route (Outward)	関西国際空港 - 高雄国際空港	
現地での出迎え Pick-up Service	☐ 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) ☒ 無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☒ 有 /Yes ☐ 無/No	有の場合 期間/Period : 2024 年 9 月 7 日 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 学生証の受け取り方、寮費の払い方、サークル紹介

帰国年月日 / Date of Return	2025 年 6 月 6 日 (YYYY/MM/DD)
経路（復路） / Route (Return)	高雄国際空港 - 関西国際空港

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	882.000		円/yen
	内訳 Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	80.000	円/yen
		ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	10.000	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	96.435	円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)	1.500	円/yen
		宿舍費（住居費） / Accommodation Fee	183.000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	4.040	円/yen
		食費 / Meal Cost	360.000	円/yen
		通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone	0	円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	14.000	円/yen
		交際費 / Social Expenses	132.000	円/yen
		その他 / Others（サークル費）	1.250	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	授業は1コマ1時間で、10分休憩があります。前期後期の二学期制で、1学期に大体週14コマ分の授業を履修していました。 履修科目は、海洋基礎科学、海洋応用科学、海上実習、海洋生物概論、高緯度海水海洋科学などと、中国語の言語の授業です。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☒ 有/Yes ☐ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	基本どの授業でも事前に資料をアップロードしてくれています。慣れない海外での授業は事前にしっかり予習をした方がいいなと思いました。授業の内容によっては「日本ではどう？」「日本人としてどう感じる？」といった質問もありました。しっかり意見を持っておくと役に立つと思います。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	座学が多めのイメージでした。日本人留学生もいますが、学部によっては留学生自体そんなにいないということもありました。英語開講の授業は基本英語で授業を行ってくれますが、教授によっては中国語も織り交ぜるので少し集中力を保つのが大変でした。

5. 生活等について / Lifestyle			
(1) 留学先の住居について / Accommodation			
住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 10 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☒ 有 / Yes (1人/People) ☐ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☐ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☐ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☐ 暖房/ Heating ☒ 冷房/ Cooling ☐ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☐ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month	(現地通貨/ local currency)	約/ approximately 21,500 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	国際寮の二人部屋に入れたら一番良いです。4人部屋のところもあります。キッチンの基本なく、共有の冷蔵庫とレンジがあります。		
(2) 医療について / Medical Care			
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10,000,000 円 / yen, 入院 1 日 / per day of Hospitalization 無制限 円 / yen その他 / Others ()		
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 /Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) ☒ 無 / No		
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	医療機関にかからなかったのでもわかりません		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	外食文化に加えて野菜が少な目だったので、コンビニ等でサラダを買って健康に気を付けるといいと思います。夜市で何度か食べ物、飲みものを買い食いしました。私は特に体調を崩すことはありませんでしたが、日本人の友人は腹痛になったことがあったので、人によっては注意が必要です。		
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management			
留学中一度だけ、大きな地下鉄駅でリュックのチャックを後ろからつかまれたことがあります。基本日本と同じ程度置換は良い所ですが、注意は必要だと思います。			

(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
寮には冷蔵庫や電子レンジくらいしかないので基本外食か学食でした。日本と同じように主食は主に米で、あまり味の面でもつらく感じたことはありませんでした。お店によっては、先に席を取っておいて注文する場所や、紙に欲しいものを書いて注文するスタイルの場所があり、最初は少し戸惑うかもしれません。夜市は夏祭りに出店のように本当に楽しいので、ぜひ行ってみてください。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
冬でも20℃を下回ることがありませんでした。薄手の長袖があれば、冬以外は基本半袖半ズボン・スカートが良いと思います。4月くらいですでに若干汗ばむ気温でした。 クーラーでかなり冷えている施設が多いので、汗冷えには注意して下さい。	
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
寮、国際寮付近の学食を除いてWi-Fi環境が整っています。大学のキャンパス全体かなり広めですが、学内循環バスがあり、学生証で乗車すれば無料で乗ることができます。図書館の自習室は24時まで空いていましたし、コンセントも充実していました。	
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
交換留学生は、現地の学生とバディを組んで半年間サポートしてもらえます。イベントに誘ってくれたり、夜市、お祭り、パーティーに誘ってくれたりします。バディの学生とは英語でコミュニケーションをとりますが、お互いに母語ではないのでそこまで心配しなくて大丈夫です。現地で分からないことや、困ったことがあったら基本バディに相談していました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
交通ルールは日本ほど遵守されていない印象です。日本では歩行者優先で車やバイクが止まってくれることが多いですが、台湾では少し危ない運転をするバイクや車が多かったです。横断歩道、信号機のある道でも気を抜けませんでした。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	
日本と地理的に近いこともあって、日本食や日本製品を買うことは比較的簡単でした。水筒やお箸(お弁当の時に使うような)は、持っていったら便利だったなと感じました。	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad	
9月から11月にかけて台風の季節です。台湾では全島休校休職になることがあり、そうになると学校だけでなく学食やレストランが休みになってしまい、外食文化の台湾では食事の面で大変でした。台風前日はスーパーなどもレジだけで40分ほど並びます。この季節は天気の情報に注意している方が良いと思います。	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2027 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2027 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a “new” graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)

現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	このまま順調に単位を履修することができたら、1年留学はしていますが、4年で卒業 することができると思います。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等につい ての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	留学前1年生の時から単位履修には気を付けていました。(落とさない、必要な分を計算 する等)

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

最初は初めての海外に楽しみよりも不安の方が大きかったのですが、いざ行ってみるとほんとうに楽しいことだらけ
でした。大変なことは現地の学生や、同じ大学に留学に来ている日本人同士協力して乗り越えることができました。
もし迷っているようなら、一歩踏み出して留学に行ってみることをお勧めします。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

留学を終えて最初にしたのは、母語で生活できることの安心感でした。1年間、中国語圏で生活し、授業は英語で受講していました。しかし、中国語の学習歴がまだ1年ほどだった私にとっては、「教授が中国語で重要なことを説明していたらどうしよう」「現地の学生とうまく会話することができていない」と不安に感じることも多くありました。このような経験を通じて、日本で生活する外国人の気持ちを少し理解できたように思います。自分が「外国人」という立場に置かれたことで、初めて気づけたことが多くありました。

留学期間中、最も印象に残っているのは、日本に良い印象を持ってくれている台湾の人々と多く出会ったことです。私が「日本から来ました」と言うと、笑顔で「日本のアニメが好き」「去年、日本に旅行に行ったよ」と声をかけてくれる人がたくさんいました。中には、日本語を何年も学んでいて、私とアニメの話や音楽の話で盛り上がり、後日一緒に食事や遊びに行った友人もいます。日本文化がきっかけで交流が生まれたことに感動し、文化の力を改めて感じました。私のいた高雄という街は日本統治時代の名残が多く残っており、歴史的背景から必ずしも良い印象だけではないかもしれませんが、それでも日本に対して温かい感情を持ってくれている人々の存在はとても嬉しく、心に残っています。

この留学を通じて成長したと感じる点は、問題解決能力と自立です。これまでは、何か問題が起きると誰かにすぐ相談したり、解決を諦めたりしていました。しかし、留学中は言語の壁もあり、頼れる人がすぐ近くにいるわけではありません。自分でなんとかしなければならぬ場面が多くありました。たとえば、居留証の取得のために内政局を訪れた際、私のアカウントがロックされるというトラブルに見舞われました。職員の方は中国語しか話せず、私の中国語力では説明がうまくできませんでしたが、翻訳機能や拙い中国語を駆使し、何とか状況を伝え、解決することができました。この経験は、自分の限られた力でも諦めずに行動することの大切さを教えてくれました。

今回の留学では、中国語や台湾の文化に直接触れられたことに加え、専門外ではありましたが現地の大学で海洋科学も学びました。この経験を通じて、中国語圏での駐在員や、海に関わる仕事への興味が芽生えました。たとえば、貿易や観光など、日本と台湾をつなぐ仕事に携わり、現地の人々との信頼関係を築くことができれば素晴らしいと思います。加えて、留学生としての立場を経験したことで今後、大学や地域で困っている外国人がいたときには、私が台湾で現地の学生に助けてもらったように、今度は私がその人の助けになりたいです。

せっかく台湾で生きた中国語に触れられる機会があったので、これからも中国語学習を継続し、今度はもっと会話を楽めるようになって台湾を再訪したいと考えています。今回の留学で得た経験や出会いは、今後の人生において大きな糧となると信じています。

